

OAM（Open Abdomen Management）を行なった患者の医学情報等に関する研究のお知らせ

りんくう総合医療センター・大阪府泉州救命救急センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 令和5年2月27日～ 令和7年3月31日

〔研究課題〕 OAM患者の医学情報等に関する疫学調査

〔研究目的〕 **〔研究意義〕** 全身状態が非常に不安定な状態で緊急手術を行なった患者さんに対する、一時閉腹法です。世界的に普及している方法ではございますが、本邦においては、行える施設が限られているのが現状です。本研究は、多くの患者さんを救うべく、OAMの最善の治療を協議、普及することを目的に行います。

〔対象・研究方法〕 令和5年2月27日から令和7年9月30日までりんくう総合医療センター・大阪府泉州救命救急センターにおいて、OAMを行なった全ての患者さんが対象となります。

診療録の中において、年齢、性別、来院方法、既往歴、生活歴、現病歴、来院時の所見（バイタルサイン、身体所見・検査所見など）、手術法および転帰に関する情報を匿名化して、集計・解析を行い、OAM管理について検討を行います。

〔個人情報の取り扱い〕 個人情報の保護のため、登録については無記名であり、個人を識別できる情報（住所、生年月日、電話番号等）は入力されないため、対象者個人の不利益になることはありません。当施設の倫理委員会の承認を受けた担当者のみが登録された情報を利用できます。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。ご協力よろしくお願い申し上げます。

研究責任者：救命診療科 医長 根本大資

情報管理責任者：大阪府泉州救命救急センター 所長 中尾彰太

住所：大阪府泉佐野市りんくう往来北2番地の23 TEL：072-469-3111